

年間授業計画 新様式

高等学校 令和5年度（2学年用）教科 外国語 科目 英語コミュニケーションII

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションII 単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 E組～F組

教科担当者：(E組：窪田) (F組：中村)

使用教科書：(Power On English Communication II (東京書籍))

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 言語や文化に対する理解を深めるための知識や言語能力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】 言語や文化に対する知識や言語能力をもとに論理的な思考力や表現方法を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】 言語や文化に対する知識を用いて、積極的にコミュニケーションを図る態度を培う。

科目 英語コミュニケーションII の目標：

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
【知識】 各課で学習する文法・語法・語彙、構文、背景知識を理解している。 【技能】 各課で学習する文法・語法・語彙、構文、背景知識の理解を基に、必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に捉えたり、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。	必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に捉えたり、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。	必要な情報や話し手・書き手の意図、概要や要点を目的に捉えたり、基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。	

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞 読 〔 や 〕 話 〔 あ 〕 書	評価規準	知 思 態	配 当 時 数
A 単元 【知識及び技能】 【知識】助動詞+動詞の原形、受け身、S+V [be 動詞以外] +Oを用いた文の形・意味・用法を理解させる。 【技能】日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、助動詞+動詞の原形、受け身、S+V [be 動詞以外] +Cを用いた文の形・意味・用法を理解している。 【知識】日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、助動詞+動詞の原形、受け身、S+V [be 動詞以外] +Oなどとの理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けています。 【思考力、判断力、表現力等】 日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、開いたり読んだりしたことを活用しながら、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えることが出来るとなる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、開いたり読んだりしたことを活用しながら、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたり出来るようになる。	○ ○ ○	A 単元 【知識及び技能】 【知識】助動詞+動詞の原形、受け身、S+V [be 動詞以外] +Cを用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、助動詞+動詞の原形、受け身、S+V [be 動詞以外] +Cなどの理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けています。 【思考力、判断力、表現力等】 日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、開いたり読んだりしたことを活用しながら、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、開いたり読んだりしたことを活用しながら、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	○ ○ ○	15	
定期考查		○ ○ ○		○ ○	1
B 単元 【知識及び技能】 【知識】現在完了形、過去完了形、仮定法過去のif 節を用いた文の形・意味・用法を理解させること。 【技能】ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、現在完了形、仮定法過去のif 節などの理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、自分の好きなスポーツ選手や有名人にについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けています。 【思考力、判断力、表現力等】 ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、開いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の好きなスポーツ選手や有名人にについて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。	○ ○ ○ ○ ○	B 単元 【知識及び技能】 【知識】現在完了形、過去完了形、仮定法過去のif 節を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、現在完了形、過去完了形、仮定法過去のif 節などの理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、自分の好きなスポーツ選手や有名人にについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けています。 【思考力、判断力、表現力等】 ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、必要な情報、話し手・書き手の意団、概要や要点、詳細を捉えたり、開いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の好きなスポーツ選手や有名人にについて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	○ ○ ○	16	

F 単元【知識及び技能】 [知識] It+is [was]+said+that 節、形式目的語itとthat 節、形式目的語itとto 不定詞、助動詞+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解させる。 【技能】 新紙幣とキャッシュレス社会について、It+is [was]+said+that 節、形式目的語itとthat 節、形式目的語itとto 不定詞、助動詞+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解させる。	[題材内容] Lesson 6 [題材内容] 2024年に新しく発行される紙幣にまつわる話やキャッシュレス化についてのオンライン記事 [言語材料] It+is [was]+said+that 節、形式目的語itとthat 節、形式目的語itとto 不定詞、助動詞+have+過去分詞 [言語の働き] 説明する、意見を述べる、賛成する、反対する、理由を述べる、発表する、質問する [題材内容] 色が私たちに与える影響や色のもつ心理的効果についての論説文 [言語材料] 関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞that，前置詞+関係代名詞，関係副詞whereの非制限用法 [言語の働き] 説明する、提案する、理由を述べる、意見を述べる、質問する・一人1台端末	[題材内容] Lesson 7 [題材内容] 新紙幣とキャッシュレス社会について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、キャッシュレス社会の長所・短所について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 新紙幣とキャッシュレス社会について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 新紙幣とキャッシュレス社会について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意団、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたら読んだりしたことを活用しながら、色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 【技能】 色の心理的効果について、関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞that，前置詞+関係代名詞，関係副詞whereの非制限用法などの理解を基に、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意団、概要や要点、詳細を捉えたり、色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。
G 単元【知識及び技能】 【知識】 関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞that，前置詞+関係代名詞，関係副詞whereの非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解している。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
H 単元【知識及び技能】 【知識】 強調構文、強調の助動詞do、直前の文を先行詞とする関係代名詞which, to+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解させる。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
I 単元【知識及び技能】 【知識】 納豆バウダーの開発の経緯と污水を浄化するしくみや、発展途上国への影響について、強調構文、強調の助動詞do、直前の文を先行詞とする関係代名詞which, to+have+過去分詞などの理解を基に、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたら読んだりしたことを活用しながら、納豆バウダーという製品の利点などをについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えせる。【思考力、判断力、表現力等】 納豆バウダーの開発の経緯と污水を浄化するしくみや、発展途上国への影響について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	定期考査	○ ○ ○ ○ ○
H 単元【知識及び技能】 【知識】 強調構文、強調の助動詞do、直前の文を先行詞とする関係代名詞which, to+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
I 単元【知識及び技能】 【知識】 納豆バウダーの開発の経緯と污水を浄化するしくみや、発展途上国への影響について、強調構文、強調の助動詞do、直前の文を先行詞とする関係代名詞which, to+have+過去分詞などの理解を基に、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意団、概要や要点、詳細を捉えたり、色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	○ ○ ○ ○ ○	17

